

独立生計申立書 (私費外国人留学生を除く)

令和 年 月 日

学生番号 _____ 氏名 _____

1. 私は、次の認定条件の1 (1はA~Cのいずれか) ~ 4の**全て**に該当し父母等から独立した生計を営んでいます。(該当する場合は、下記1~4にチェックしてください (1はA~Cのいずれか))

認定条件		必要書類	備考
以下1-4の 全て に該当すること (但し、1はA-Cのいずれか)		○本人 (及び配偶者) の所得 (課税) 証明書 (必須) 上記に加えて、以下1-4の全てに該当すること (但し、1はA-Cのいずれか)	全てに該当しない場合は、 <u>独立生計での申請は不可です。</u>
1	A. 本人 (配偶者も含む) に、年間103万円を超える収入 (給与収入又は所得) があり、その収入について、所得申告がなされ、所得証明が発行される者	A-前年から引き続き同じ給与収入又は所得がある場合は、源泉徴収票 (写) や確定申告控 (写) 等 (年収を示すもの)	認定条件の収入に含まれない主なもの ・貸与奨学金 ・基準日 (前期4月1日、後期10月1日) 時点で終了 (退職・休職) しているもの
	B. 本人 (配偶者も含む) に、今年度、給与収入 (例: 給与奨学金 (年額)、アルバイト等も含めた総額) 又は所得が103万円を超える見込みの者	B-その根拠証明書等 (給与支給 (予定) 証明書 [様式2]、学振採用決定が分かるもの、奨学金の受給額が分かるもの等)	
	C. <u>本人が本学への入学のために退職 (休職等) し無収入となった者</u> で就労時の預貯金により生活を行っており、その預金残高が103万円を超えている者	C-退職・休職し預貯金により生活を行っている場合は、 <u>退職 (休職等) 証明書 (他の書類は不可) 及び氏名と預金残高がわかるもの (通帳の写等)</u>	学振やリーディングプログラム、アルバイトの期間終了は退職に該当しません。
2	所得税法上及び健康保険上、父母等 (配偶者を除く) の扶養親族でない者	・本人 (又は配偶者) が筆頭の健康保険被保険者証 (写) (国民健康保険の場合は本人 (配偶者) が世帯主) ・ <u>配偶者がいる場合</u> : 配偶者の健康保険被保険者証 (写) も必要 (国民健康保険の場合は本人 (配偶者) が世帯主)	
3	本人 (及び配偶者) の父母等と別居している者	・本人 (配偶者も含む) の住民票 (原本) ・本人 (配偶者も含む) の父母の住民票等 (コピー可) ※ ・ <u>配偶者がいる場合</u> : 配偶者の父母の住民票等も必要 ※ただし遠方・高齢等の事情により、住民票の取得が困難な場合は、免許証や保険証 (住所が記載されているもの) の写でも可	父母と住所が同じ場合は別居とはみなしません。
4	父母等 (配偶者を除く) から経済的な援助を受けていない者	・独立生計申立書 [様式7]	

2. 私 (と配偶者) の「1ヶ月当たりの平均家計費」および「年収」は次のとおりです。

収入		支出 (学費は含めない)			
続柄	項目	年収	月平均 (=年収÷12)	項目	月平均
(例) 本人	定職 (支払金額を記入)	千円	千円	住居費	千円
配偶者				水道光熱費・通信費	千円
	日本学術振興会特別研究員・研究遂行費を申請している場合は月平均を14万円と記入	千円	千円	食費	千円
	リーディングプログラム奨励金			衣服・日用品費	千円
	TA/RA/OA等	千円	千円	教材費	千円
	アルバイト	千円	千円	交通費	千円
	奨学金 (給与型名称)	千円	千円	健康保険料・医療費	千円
	奨学金☆ (貸与型名称)	千円	千円	子どもの養育費	千円
	預貯金引出☆☆ (残高ではありません) 1-Cの申請者は願書に同額を入力すること	千円	千円	その他 ()	千円
	その他 ()	千円	千円		
	合計	千円	千円	合計	千円

収入は根拠のある数字を記入してください

収支額を一致させてください

※願書の入力内容と一致すること (但し、☆は除く/☆☆は認定条件1-Cでの申請者のみ一致すること)